

科目名	(美容実習)カット基礎			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	1年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	wigを⑤台使用し、ベーシックカット～デザインカットの触りまでを理解する→最終日には作品提出を行い、ベーシックデザインを理解する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	美容技術理論 1 美容実習1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	ヘアカッティング基礎知識を知る	シザーズの持ち方開閉とカットの正しい姿勢・展開図					ウイッグ①・テキスト	
第2回	wig①ワンレングスロングカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウイッグ①・テキスト	
第3回	wig①ワンレングスロングカット	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング						
第4回	wig①グラデーションボブカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウイッグ①・テキスト	
第5回	wig①グラデーションボブカット	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング						
第6回	wig②ロングレイヤーカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウイッグ②・テキスト	
第7回	wig②ロングレイヤーカット	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング						
第8回	wig②ショートレイヤーカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウイッグ②・テキスト	
第9回	wig②ショートレイヤーカット	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング						
第10回	wig③前下がりボブカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウイッグ③・テキスト	
第11回	wig③前下がりボブカット	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング						
第12回	wig③マッシュルームボブカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス						
第13回	wig③マッシュルームボブカット	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング					ウイッグ④・テキスト	
第14回	wig④ツーセクションカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス						
第15回	wig⑤作品作成	履修内容を活かし自由に作品作成し提出(サロン審査員)					ウイッグ⑤・テキスト	
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	天野 和真			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/amano/			

科目名	シャンプー・ヘッドスパ			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	1年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	現場に必要な頭皮理論、ヘッド・スパ技法の習得、及びコンサルテーション能力向上を目指す							
授業の一般目標	頭皮理論とスパシャンプー、クレンジング、リフトアップメソッドの習得。不調の原因、解消法など応対話法の習得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	資生堂ヘッドスパテキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回 ~2回	シャンプーを知る	シャンプー準備・シャワーの使い方・マッサージ理論						
第3回 ~4回	シャンプーを知る	シャンプー工程を覚える・効果的なマッサージトレーニング						
第5回 ~6回	頭皮ケア理論 グロースメソッド・テクニク①	デトックス(スカルプ) マッサージトレーニングを行う						
第7回 ~8回	テクニク②	リフトアップ(頭皮とリンパ) マッサージトレーニングを行う						
第9回 ~10回	テクニクまとめ	前回迄の技術を一連の流れで行う						
第11回 ~12回	理論・マッサージ技術検定	筆記、技術に関するチェックテストを受験する					資生堂ディプロマ取得	
第13回 ~14回	コンサルテーション理論	話法、傾聴スキルアップ、マイクロスコープ頭診断を行う						
第15回	コンサルテーション実習	コンサルテーションについて、実際に実習する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	天野 和真 / 柳原 優志			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/amano/ https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/yanagihara/			

科目名	美容実習 (ワインディング I)		単位数	4	科目コード	
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ワインディング					
授業の一般目標	1. 美容師国家試験合格レベル・コンクールレベルの知識習得 2. ロッド使用しパーマの形成を理解する 3. 人間の醸成					
受講条件	出席率80%以上が前提となる					
事前学習について (テキスト・参考書等)	衛生と技術の解説 理容師美容師試験研修センター 美容実習 1 美容技術理論 1 日本理容美容教育センター					
授業の到達目標						
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。					
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。					
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。					
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。					
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点						
授業計画(全体)						
授業計画(授業単位)						
回	主題	授業内容				備考
第1回	器具・用具について	器具・用具の名称理解・準備の方法を習得・コーミング&ブロッキング				
第2回	ブロッキング・上巻	コーミング5分&ブロッキングできる(5分)・上巻き技術				
第3回~6回	ブロッキング・上巻き・下巻き	ブロッキング(5分)・上巻き・下巻き技術				
第7回	フロントについて	ブロッキング・上巻き・下巻き(センター18分)完成				
第8回	センターからフロント	ブロッキング・上巻き・下巻き(センター18分) フロントのスライス				
第9回		センター~フロントを巻く				
第10回	角度スライスの確認	センター~フロントを巻く(フロント3本のバランスに注意する)				
第11回		ブロッキング(5分)・全頭を巻く				
第12回~15回	バックサイドのスライスの取り方	ブロッキング(5分)・全頭を巻く(巻残りに気をつける)				
第16回	センター角度スライス	バックサイドのスライスの取り方の理解・巻き方練習(右)				
第17回		バックサイドのスライスの取り方の理解・巻き方練習(左)				
第18回		センターを角度の確認をし巻く				目標・50分
第19回						目標・49分
第20回		ブロッキング(9ブロック・5分)・時間内に全頭を巻く				目標・47分
第21回	ワインディング全頭					目標・46分
第22回						目標・45分
第23回		ブロッキング(9ブロック・5分)・正しいスライス・角度で時間内に全頭を巻く				目標・44分
第24回						目標・43分
第25回						目標・42分
第26回						目標・40分
第27回						目標・39分
第28回		ブロッキング(9ブロック・5分)時間内に全頭を巻く・正しいスライス・角度・(オンベース・1/2オフベース)				目標・38分
第29回						目標・37分
第30回	ワインディング全頭	ブロッキング(9ブロック・5分)時間内に全頭を巻く・正しいスライス・角度・(オンベース・1/2オフベース)・フロントのスライスを正しく				目標・36分
第31回		ブロッキング(9ブロック・5分)全頭を巻く・正しいスライス・角度・フロントのスライスを正しく・ラバーをねじらない				目標・35分
第32回		ブロッキング(9ブロック・5分)全頭を巻く・正しいスライス・角度・フロントのスライスを正しく・ラバーをねじらない・ラインを気をつける				目標・32分
第33回	①確認テスト	ブロッキング(9ブロック・5分)全頭を巻く(30分)正しいスライス・角度・フロントの見極めテスト(30分)				目標・31分
第34回		ブロッキング(9ブロック・4分)全頭を巻く(30分)正しいスライス・角度・フロントのスライスを正しく・ラバーをねじらない・全体のをバランス良く				
第35回	全頭の角度を把握・時間内の完成	ブロッキング(9ブロック・4分)全頭を巻く(30分)正しいスライス・角度・フロントのスライスを正しく・ラバーをねじらない・センターを中心に収める				
第36回		ブロッキング(3ブロック・3分)全頭を巻く(30分)正しいスライス・角度・ステムの角度に気を付ける				
第37回		ブロッキング(3ブロック・2分)全頭を巻く(30分)正しいスライス・角度・ステムの角度に気を付ける・センターのロッド幅を正しく				
第38回	全頭の角度を把握・時間内の完成	ブロッキング(3ブロック・2分以内)全頭を巻く(30分)正しいスライス・角度・ステムの角度に気を付ける・センターのロッド幅を正しく				
第39回	衛生の意義と用具類について	衛生の用具類について理解する。 衛生と技術の解説DVD				
第40回	衛生の準備について	衛生的に準備(7分)全頭30分				
第41回		衛生的に準備(7分)全頭・全体のバランスに気をつける				目標・29分
第42回	衛生の準備について	衛生的に準備(7分)全頭・全体のバランス・ラバー掛けを丁寧にする・おくれ毛を出さない				目標・29分
第43回	衛生準備、全頭の完成(正確さ・綺麗さ・速さ)	衛生的に準備(7分)全頭・1本25秒・ブロッキング(1分)				目標・28分
第44回						目標・28分
第45回		全頭・1本25秒・ブロッキング(1分)・衛生に気を付ける				目標・27分
第46回		衛生的に準備(7分)全頭26分(目標)・1本25秒・ブロッキング(1分)衛生区分(消毒済・使用中)に気をつける				
第47回	衛生準備、全頭の完成(正確さ・綺麗さ・速さ)	衛生的に準備(7分)全頭・(目標)・1本25秒・ブロッキング(1分)衛生区分(消毒済・使用中)に気をつける				目標・26分
第48回		衛生的に準備(7分)全頭・(目標)・1本25秒・ブロッキング(1分)衛生区分(消毒済・使用中)に気をつける				
第49回		衛生的に準備(7分)全頭25分・1本25秒・ブロッキング(1分)衛生区分・器具の取り扱いに注意する				目標・25分
第50回		衛生的に準備(7分)全頭25分・1本24秒・ブロッキング(1分)衛生区分をする				
第51回	②確認テスト	見極めテスト(25分)・復習				
第52回		準備(7分)センター(6分)・フロント~右サイド(7.5分)左サイド(6.5分)				
第53回	全頭の時間配分と時間内完成(正確さ・綺麗さ20分)	準備(7分)センター(6分)・フロント~右サイド(7.5分)左サイド(6.5分)通し全頭(20分)				目標・20分
第54回		準備(7分)全頭20分×3・全体のバランスと時間配分を考える(ブロッキング40秒・センターまで6分)				
第55回	期末試験対策 国家試験審査に準じた作品作成	準備(7分)全頭20分×3・全体のバランスと時間配分を考える(右サイドピンク3本まで10分)				
第56回						
第57回						
第58回		準備(7分)全頭20分×3・構成に注意して巻く。フロントの配列				
第59回	国家試験合格レベルで作品を仕上げられる	衛生準備(7分)・全頭20分~ふき取り作業まで×3回				
第60回		全頭20分で作品を仕上げられ、衛生面に配慮できる				
成績評価方法						
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上						
定期試験	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他
小テスト	◎	○			◎	
宿題授業外レポート						
授業態度						
発表・作品						評価なし
演習						評価なし
出席			○			欠格条件
担当教員	天野 和真		実務経験紹介		https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/amano/	

2020年度 シラバス

科目名	美容実習(ウェーブⅠ)		単位数	4	科目コード											
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期										
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有										
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ヘアセッティング															
授業の一般目標	1. 美容師国家試験合格レベルへの引き上げ 2. 正確な技術の習得 3. 人間性の醸成 4. セッティングやデザインの復元に富んだ長持ちするコムアウトが容易にできるようになる															
受講条件	出席率80%以上が前提となる															
事前学習について (テキスト・参考書等)	衛生と技術の解説 理容師美容師試験研修センター 美容実習Ⅰ 美容技術理論Ⅰ 日本理容美容教育センター															
授業の到達目標																
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。															
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。															
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。															
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。															
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点																
授業計画(全体)																
授業計画(授業単位)																
回	主題	授業内容				備考										
第1回	理論と基礎技術	ブロッキング	道具説明、馬蹄形にフロントをブロッキングし、ウェーブ実習使用に適した状態に整えローション塗布(両サイドブロッキングしておく)													
第2回	理論と基礎技術	ウェーブ作成	イヤホイヤーをブロッキングし、後頭部でフィンガーウェーブ シェービング(半円)を作る作業													
第3回～9回	理論と基礎技術	ウェーブ・リッジ作成	フィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業													
			3回目迄の復習→後頭部でフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業													
			両サイドのブロッキングをはずし、ローションを塗布し、2回目からフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業													
第10回～15回	理論と基礎技術	構成	2回目フィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業													
			2回目3段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業													
			2回目～4段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業													
第16回	理論と基礎技術	構成	2回目～5段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業													
			2回目～6段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業													
第17回～24回	理論と基礎技術	構成・クロッキノールカール	2回目～7段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業													
			2回目～6段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業 7段目クロッキノールカール作成													
第25回	理論と基礎技術	構成・クロッキノールカール	1回目馬蹄形の説明→馬蹄形を作る 1回目スカルプチュアカール作成													
第26回～31回	理論と基礎技術	スカルプチュアカール	1回目スカルプチュアカール作成													
			1回目スカルプチュアカール→2回目フィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る													
			1回目スカルプチュアカール→5回目フィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る													
			1回目スカルプチュアカール→2回目～6段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジ→7段目クロッキノールカールを作る													
第32回	理論と基礎技術	スカルプチュアカール	1回目スカルプチュアカール→2回目～6段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジ→7段目クロッキノールカールを作る													
			1回目スカルプチュアカール→2回目～6段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジ→7段目クロッキノールカールを作る													
第33回～35回	理論と基礎技術	スカルプチュアカール	1回目スカルプチュアカールの復習(ウェーブ、スライスの取り方、シェーブの方法、ピニング)													
			1回目スカルプチュアカールの復習(ウェーブ、スライスの取り方、シェーブの方法、ピニング)→作成しながら2回目につなげる構成を理解する													
第36回～46回	全体	構成とカール・ウェーブのサイズ	1回目スカルプチュアカール→2回目～6段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジ→7段目クロッキノールカールを作る													
			7段目クロッキノールカールの復習(ウェーブ、スライスの取り方、シェーブの方法、ピニング)													
			フロント(スカルプチュアカール)～7段目(クロッキノールカール)まで作成し、全体のバランスみながら35分で仕上げる事を達成目標とする													
			フロント(スカルプチュアカール)～7段目(クロッキノールカール)まで作成し、全体のバランスみながら30分で仕上げる事を達成目標とする 正確サイズで仕上げる													
			2～6段目・・・サイズに忠実に、構成を把握し、2回目～4回目→各3分、5～6回目→各2分、7回目→5分でウェーブとリッジを作成する(計13分目安)													
第47回～51回	後期期末試験課題作成	7段目・・・サイズに忠実に5分目安で作成する														
		1 段目：フロント(スカルプチュアカール) 2 段目：ウェーブ・リッジ 3 段目：ウェーブ・リッジ 4 段目：ウェーブ・リッジ 5 段目：ウェーブ・リッジ 6 段目：ウェーブ・リッジ 7 段目：クロッキノールカール までを32分で仕上げる事を目標とする 評価項目【国家に準じる】 *全体の構成が理解出来ている *スカルプチュアカール・クロッキノールカールのサイズ、位置、作り方を理解している *ウェーブのシェーブを常に床と並行に動かし、面を揃えて正確にカールを作る事が出来る *正確なシェービングをし、ウェーブの面が揃うリッジを作る事が出来る				目標35分										
第52回	確認テスト	全題35分以内に仕上げる														
第53回～第60回	後期期末試験課題作成	1 段目：フロント(スカルプチュアカール) 2 段目：ウェーブ・リッジ 3 段目：ウェーブ・リッジ 4 段目：ウェーブ・リッジ 5 段目：ウェーブ・リッジ 6 段目：ウェーブ・リッジ 7 段目：クロッキノールカール までを29分で仕上げる事を目標とする 1分で全頭チェック手直し 評価項目【国家に準じる】 *全体の構成が理解出来ている *スカルプチュアカール・クロッキノールカールのサイズ、位置、作り方を理解している *ウェーブのシェーブを常に床と並行に動かし、面を揃えて正確にカールを作る事が出来る *正確なシェービングをし、ウェーブの面が揃うリッジを作る事が出来る				30分で作品制作										
		成績評価方法 単位認定 総合成績60点、出席率80%以上														
定期試験	知識・理	◎	思考・判	○	関心・意	◎	態度	◎	技能・表	◎	その他		評価割	100	成績評価基準	S(4):90点以上
小テスト															A(3):80点以上	
宿題授業外レポート															B(2):70点以上	
授業態度															C(1):60点以上	
発表・作品															D:59点未満 未修得	
演習																
出席					○											
担当教員	柳原 優志		実務経験紹介				https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/yanagihara/									

科目名	美容実習(ウエーブⅡ)		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ヘアセッティング (国家試験第2課題)							
授業の一般目標	1. 美容師国家試験合格レベルへの引き上げ 2. 正確な技術の習得 3. 人間性の醸成 4. セッティングやデザインの復元に富んだ長持ちするコムアウトが容易にできるようになる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	衛生と技術の解説 理容師美容師試験研修センター 美容実習1 美容技術理論1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
1・2回	実力確認テスト		一段目はスカルプチュアカール、2段目～6段目はオールウェーブ、7段目はクロッキノールカールの全頭で完成する (1年目の課題スタイル)			タイム計測25分		
3・4回	難点部分の技術強化		実力テストで自分の難点部分を知り、技術と理解を改善する					
5・6回	実力再確認テスト		上記スタイルで、国家試験基準の十分な到達レベルに仕上げる					
7・8回	4段目にリフトカールの作製		リフトカールの定義を知り、技術指導を受け作れるようになる			オールウェーブの中央1/3は作らない状態で準備す		
9・10回	5段目に逆リフトカールの作製		逆リフトカールの定義を知り、技術指導を受ける作れるようになる					
11・12回	リフトカール・逆リフト	難点部分の技術強化と確認テスト	リフトカールと逆リフトを国家試験基準の十分な到達レベルに仕上げる			時計の方向巻きと 逆方向巻き		
13・14回	6段目にメイポールカールの作製カールの作成	7段目にクロッキノールカールの作成	メイポールカールとクロッキノールカールの定義を知り、技術指導を受け作れるようになる			オールウェーブの中央1/3は作らない状態で準備す		
15・16回	メイポールカール・クロッキノールカール	難点部分の強化と確認テスト	各カールを国家試験基準の十分な到達レベルに仕上げる					
17・18回	全カールの難点部分の技術強化		確認テストでの自分の難点部分を知り、技術と理解を改善する					
19・20回	期末テスト試験課題の作製		期末テストスタイルのデモンストレーションよりスタイル構成を知る					
21・22回			技術の条件を理解して課題スタイルを完成させる			タイム計測30分		
23・24回	到達度テスト		合格基準に十分に到達した仕上げを2分前には、仕上げる			タイム計測27分		
25・26回	難点部分の技術強化					タイム計測26分		
27・28回	到達度テスト		23分で仕上げ2分で仕上げり確認をする			タイム計測25分		
29・30回	難点部分の技術強化					タイム計測25分		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		100	S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	天野 和真 / 柳原 優志			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/amano/ https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/yanagihara/			

科目名	美容実習(メイク)			単位数	2	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	1年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	JMA3級資格取得のためのベーシックメイク、を身に付ける							
授業の一般目標	JMA3級資格取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	授業の進め方・道具のチェック&手入れ法	授業を受ける際の注意事項・道具の点検と道具の手入れ方法						
第2回	道具の置き方・身だしなみ・ポイントメイクデモ	セッティングや身だしなみ、セルフメイクの仕方						
第3回	ポイントクレンジングデモ・相モデル練習	ウイッグを使ったポイントクレンジングの練習と相モデル練習						
第4回	全体クレンジングデモ・相モデル練習	ウイッグを使った全体クレンジングの練習と相モデル練習						
第5回	クレンジング復習・クレンジング相モデル練習	ウイッグを使った全体クレンジングの復習&相モデル練習						
第6回	化粧水デモ・化粧水相モデル練習	化粧水の相モデル練習						
第7回	ポイントメイククレンジング～化粧水相モデル練習	相モデルにてレッスン						
第8回	ブライマーデモ・相モデル練習	ブライマー相モデル練習						
第9回	ポイントクレンジング～ブライマー相モデル練習	スキンケア総復習相モデル練習						
第10回	コントロールカラーデモ・相モデル練習	コントロールカラーのつけ方と相モデル練習						
第11回	スキンケア～コントロールカラー・ファンデデモ	スキンケア～コントロールカラー相モデル練習など						
第12回	ファンデーション相モデル練習	ファンデーションのつけ相モデル方練習						
第13回	スキンケア～ファンデ・コンシーラーデモ	スキンケア～ファンデ相モデル練習・カバーの仕方						
第14回	コンシーラー相モデル練習	それぞれに合ったコンシーラー相モデル練習						
第15回	スキンケア～コンシーラー・フェイスパウダーデモ	スキンケア～コンシーラー相モデル練習・パウダーの仕方						
第16回	フェイスパウダー相モデル練習	フェイスパウダーのつけ方相モデル練習						
第17回	スキンケア～フェイスパウダー	スキンケア～フェイスパウダー相モデル練習						
第18回	ハイライト・ローライト・ニュアンスデモ&練習	ハイライト・ローライト・ニュアンスの相モデル練習						
第19回	スキンケア～ベースメイク完成(3級模擬試験)	スキンケア～ベースメイクの模擬試験						
第20回	アイブロウデモ・アイブロウ相モデル練習	それぞれに合ったアイブロウの描き方相モデル練習						
第21回	スキンケア～アイブロウ・アイメイクデモ	スキンケア～アイブロウ相モデル練習・アイメイクの仕方						
第22回	アイメイク相モデル練習	それぞれに合ったアイメイクの相モデル練習						
第23回	スキンケア～アイメイク・リップデモ	スキンケア～アイメイク相モデル練習・リップのいれ方						
第24回	リップ相モデル練習	それぞれに合ったリップのつけ方練習						
第25回	スキンケア～リップ・チークデモ	スキンケア～リップ相モデル練習・チークのいれ方						
第26回	チーク相モデル練習	チークを入れてフルメイク完成相モデル練習						
第27回	スキンケア～フルメイク (タイムアップ)	2・3級検定対策						
第28回	スキンケア～フルメイク (タイムアップ)	2・3級検定対策						
第29回	スキンケア～フルメイク (タイムアップ)	2・3級検定対策						
第30回	スキンケア～フルメイク (タイムアップ)	2・3級検定対策						
成績評価方法								
単位認定 学内試験60点以上、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			